

FM BIOS

WRTOPL (4110H/MUSIC)

機能	OPLLレジスタにデータを書き込む
引数	A OPLLレジスタ番号を指定します。 E 書き込むデータを指定します。
戻値	なし
変更	なし
備考	呼び出しの前後で割り込み状態は変化しません。

INIOPL (4113H/MUSIC)

機能	OPLLドライバを初期化する
引数	HL ワークエリアの先頭アドレスを偶数で指定します。
戻値	なし
変更	AF,BC,DE,HL,IX,IY
備考	HLレジスタで指定したアドレス(偶数)にドライバが使用するワークエリアを設定し、ワークエリアとOPLLレジスタを初期化します。ワークエリアは偶数アドレスから始まる必要があります。ワークエリアのアドレスは[SLTWRK (FD09H, 128)]に保存されます。指定されたアドレスがRAMでない場合は動作保証されません。 FM BIOSをコールするときは、最初にINIOPLを呼び出さなくてはなりません。このルーチンを呼び出さずに他のエントリルーチンを呼び出したときは、正常に動作しません。 割り込みは許可の状態です。

MSTART (4116H/MUSIC)

機能	OPLLドライバによる音楽の演奏を開始する
引数	HL 音楽データの先頭アドレスを指定します。 A 演奏回数を指定します。 0: 無限に繰り返します。 1~254: 繰り返し回数を指定します。 255: 動作保証がありません。
戻値	なし
変更	AF,BC,DE,HL,IX,IY
備考	HLレジスタで指定されたアドレスにある音楽データを演奏開始します。あらかじめ、OPLDRV(411FH/MUSIC)を割り込みで呼ばれるようにしておかなければ演奏されません。割り込み許可の状態です。 音楽データの形式は「OPLLドライバ」、「FMチャンネルデータ」、「リズムチャンネルデータ」表を参照してください。

MSTOP (4119H/MUSIC)

機能	OPLLドライバによる音楽の演奏を終了する
引数	なし
戻値	なし
変更	AF,BC,DE,HL,IX,IY
備考	OPLLのすべての音の発生を止め、OPLLドライバのワークエリアの初期化を行います。割り込み許可の状態です。

RDDATA (411CH/MUSIC)

機能	ROM音色データを得る
引数	HL データを格納するアドレスを指定します。 A 音色番号を指定します。番号は0~63です。
戻値	なし
変更	F
備考	HLレジスタで指定したアドレスから8バイトの空きエリアが必要です。HLレジスタで指定したアドレスからOPLLレジスタのアドレス00~07の値が順に格納されます。 OPLLレジスタに関しては下記の「OPLLレジスタマップ」表を参照してください。

OPLDRV (411FH/MUSIC)

機能	OPLLドライバへの割り込みの先頭アドレス
引数	なし
戻値	なし
変更	なし
備考	音楽演奏を実際に行うOPLLドライバの先頭アドレスです。INIOPL(4113H/MUSIC)を呼び出した後、タイマー割り込みフック[H.TIMI (FD9FH, 5)]を書き換えてOPLDRVが呼び出される状態にしてください。INIOPLの呼び出し前にフックを書き換えた場合の動作は保証できません。

TSTBGM (4122H/MUSIC)

機能	OPLLドライバによる音楽の演奏状態を確認する
引数	なし
戻値	A 演奏状態を表します 0: 演奏終了 0以外: 演奏中
変更	AF
備考	呼び出しの前後で割り込み状態は変化しません。